

施工時 ご注意願います

スパウト部取付けの注意点

捨て水ホースが施工時に折れ曲がらないように挿入してください。折れると、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、アルカリイオン水生成器の故障のおそれがあります。

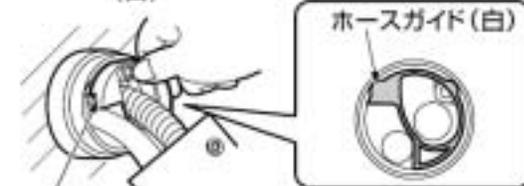
1. ホース位置の確認

2本のホースをA図の位置程度まで挿入したところで取付金具の正面から見て2本のホースがB図の位置になっているか確認・調整する。



2. ホースガイドの差込み

取付金具の形状に合わせて、ホースガイド(白)を差し込む。

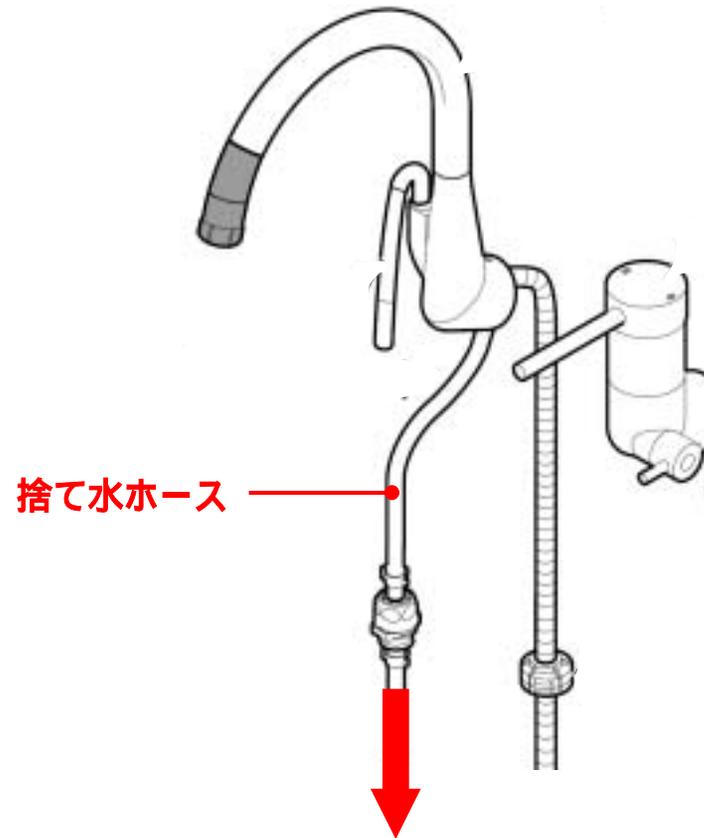


3. ホースの差込み

捨て水ホース(透明)が折れ曲がらないように、慎重にホースガイド(白)に差し込む。



取付け後の確認内容



施工後、捨て水ホースを、下方に軽く引っ張り、水栓本体内部での折れ曲がりがないことを確認してください。

施工時 ご注意願います

確認項目

水栓のハンドルを閉じて浄水ハンドルを全開にし、捨て水ホースに膨らみがないことを確認する。その後吐水口から吐水が始まることを確認する。

浄水ハンドルを全開にして通水すると、始めはピーピー音とともにアルカリ3ランプが点滅しながら約1分間捨て水されます。(全捨て水モード)

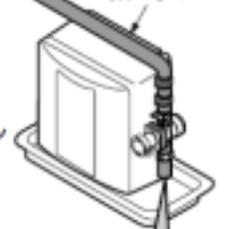
全捨て水モード時に捨て水ホースに膨らみがないことを確認してください。その後、ピーピー音とともに吐水口からも吐水が始まります。

通水中に各部から水漏れがないか確認してください。

ピーピー音が止まり、浄水ランプが点灯すると使用可能です。

重要

※膨らみがないことを確認
捨て水ホース



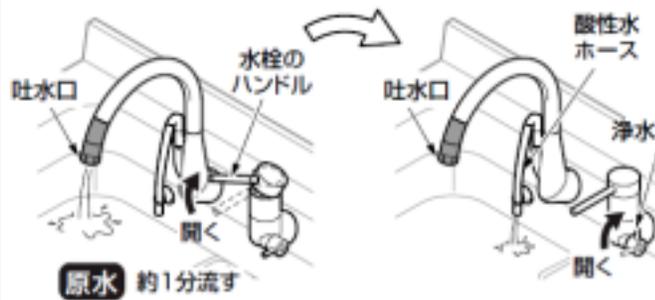
膨らみを確認するときは
断熱材を外してください。

全捨て水モードにしたいときは

全捨て水モードとは

酸性水ホースのみから水が流れ出ている(吐水口から水が出ていない)状態です。全捨て水モードになっていない場合は、次の作業を行ってください。

- ① 加熱洗浄 停止  赤色ランプ
を2秒間押して加熱洗浄設定モードにする。(赤色ランプ点滅)
- ② 再度 加熱洗浄 停止  赤色ランプ
を押すと加熱洗浄モードになります。(赤色ランプ点灯)
- ③ 加熱洗浄 停止  赤色ランプ
をもう一度押し、加熱洗浄モードを解除する。(赤色ランプ消灯)
- ④ 浄水ハンドルを全開にし、全捨て水モードであることを確認する。



NG

NG

NG

NG

不良例

膨らみがある。

↳ ホースが折れ曲がったり、つぶれていないか確認してください。

酸性水スパウトから水が出ない。

↳ 捨て水ホースが折れ曲がったり、つぶれていないか確認してください。
※TK52型、TK53型の場合、スパウト部を無理に押し込むと、捨て水ホースが折れ曲がるおそれがあります。水栓の施工説明書に従って、捨て水ホースの差し込みに注意し、再度スパウト部を取り付けてください。



捨て水が完了しない。

↳ 水圧が低いのですか？
水圧が0.07MPa以下の地域では使用できません。

吐水口から水が全く出ない。

↳ 給水ホースと吐水ホースを逆に接続していませんか？
↳ 給水ホースが折れ曲がったりしていませんか？